

分担金・拠出金の名称	中東淡水化研究センター(MEDRC)拠出金	平成28年度 予算額	3,484千円	総合 評価	B
拠出先の国際機関名	中東淡水化研究センター(MEDRC)				
国際機関の概要	中東淡水化研究センター(MEDRC)は、1996年に発足。中東和平促進に資するための淡水化関連事業を広く行っている。機関の目的は、「淡水化に関連する基礎研究及び応用研究の進行、実施、調整等を行うこと。また、淡水化の技術的な工程を改善することにより、中東和平プロセス並びに中東及びその他地域の人々の生活水準の向上に貢献すること。」とされている(設立協定)。				
評価基準		達成状況			
1. 当該機関等の専門分野における影響力・貢献		MEDRCは、淡水化に関する調査研究、人材育成、情報交流、及び他機関との提携関係促進を主として活動している。MEDRCは、1991年のマドリッド会議で決定された枠組みに従い、中東和平多国間協議の5つの作業部会の中の水資源WGのなかで、オマーンの提案によって全会一致で設立されたもの。現在、ほぼ停滞している中東和平多国間協議プロセスのなかで、MEDRCは唯一継続して活動を続けており、実務レベルでのコアパーティ3者(イスラエル、ヨルダン、パレスチナ)間の信頼醸成に大きく貢献している。			
2. 我が国重要外交課題遂行における当該機関等の有用性(意思決定における我が国のプレゼンスを含む)		MEDRCへの拠出は、我が国による中東和平・パレスチナ支援の一環であり、中東地域の平和と安定は、我が国の平和と安定、経済の安定的成長の確保の観点からきわめて重要な問題である。年に2回(6月及び12月)に実施される執行理事会では、活動計画及び予算計画の監督・承認をおこなっている。右執行理事会には、我が国の代表者及び技術顧問として淡水化技術の専門家も毎回出席して、活動計画及び予算計画の承認を行っており、意思決定における我が国のプレゼンスは確保されている。			
3. 当該機関等の組織・財政マネジメント		オマーンの首都マスカットにMEDRC事務局があり、活動計画、予算などの管理・監督を行う。2013年10月に就任したオクイン事務局長の下、財政維持のための運営方針に関する新戦略が策定され、財政改革に取り組んでいるところ。ドナーからの支援に加えて、企業の研修の受注等を通じた独自財源の確保等に動いている点は評価できる。			
4. 当該機関等における邦人職員の状況		邦人職員数は0(平成28年7月時点)であるものの、年2回の執行理事会には、我が国の代表者及び技術顧問として淡水化技術の専門家が毎回出席して我が国の意見を述べているほか、現地日本大使館員が定期的にMEDRCと事務局と協議を行い、その運営計画等に対する助言を行っている。			
5. 我が国拠出の執行管理、PDCAサイクルの確保		PCDAサイクルが確保されており、我が国拠出に関して執行管理を実施している。 ①Plan(計画段階): 我が国の中東政策(特に対パレスチナ支援)等に照らしつつ、予算要求。MEDRC側は、翌年度事業計画を策定し、執行理事会の承認を得る。 ②Do(実施段階): 予算拠出: MEDRC執行理事会を通じて、MEDRCの活動をモニタリング。 ③Check(評価段階): MEDRC執行理事会に対する事業報告、外部監査報告書により成果を評価。 ④Act(フォローアップ): MEDRC執行理事会を通じ、必要に応じて改善を提言。			
担当課・室名	中東アフリカ局 中東第一課				